



探究科学科ニューズレター 第1号

夏の体験学習が行われました

1年生 巡検研修 2年生 校内研修

探究科学科は、1年生・2年生ともに夏の体験学習を終えました。それぞれの様子を紹介します。

1年生

7月26日理数科学科が巡検研修に行ってきました。

まず富山カルデラ砂防博物館の福井研究員とともに有料道路を経て室堂着。室堂周辺の山、カールの説明を受けました。その後立山カルデラ展望台まで登り、途中羊背岩、板状節理を観察。室堂周辺を散策しながらミクリガ池、その後噴煙あがる地獄谷、ミドリガ池を観察。また、立山周辺のカルルや氷河が運んだとされる岩など氷河の痕跡を見学。国立公園内の貴重な環境を学ぶことができました。



写真：室堂平



写真：ミドリガ池

7月22日人文社会科学科は、富山運河でフィールドワークを行いました。天候は小雨でしたが、環水公園からフェリーに乗船し中島開門着。水のエレベーターを実際に体験し、水位の調整施設も見学しました。普段は立ち入ることができない施設を見学し、学芸員の方に様々な質問をすることもでき、自身の濃い研修となりました。富山の治水の歴史と現状をこの目で確認するよい機会となりました。



写真：中島開門

2年生

今年度も東京方面研修は中止となりましたが、校内で8月8日に研修を受けました。

理数科学科は東京大学野尻秀昭教授（本校卒）に講義を受けました。本来は8月8日に東大弥生キャンパスを訪問し講義を受ける予定でしたが、先生にご来校いただけることになりました。



写真：東京大学野尻先生講義



講義は微生物を利用した現在の地球環境の改善について学びました。高度な内容でしたが皆真剣に聞いていました。今後の探究活動のため示唆に富む内容でした。また先生の中学から現在に至るまでの足跡を話され今後私たちが自分の進路を考えていく上で参考となる研修になりました。

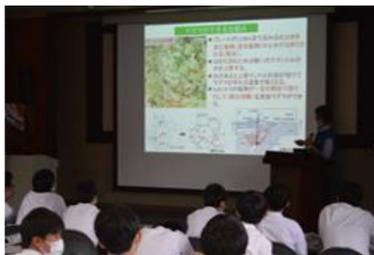
1年生外部講師授業

理数科学科

今年度は7月の巡検研修に向けて、立山カルデラ博物館の福井幸太郎学芸員に来ていただき講義を受け、標高差に伴う気候・植生・景色の変化について学びました。また立山火山の活動について講義を受けました。立山室堂周辺の地形の成り立ち、また氷河地形の形成、室堂周辺に氷河があった理由についても学びました。7月の巡検研修で実物に触れ、更に学びを深めることが期待されます。



立山カルデラ博物館 福井幸太郎講師講義



人文社会科学科

言語文化・現代の国語の理解の一環として、高志の国文学館の展示を見学してきました。郷土の作家、ふるさと文学について説明を受け理解を深めました。また、文学的な研究を進めていく上での基本姿勢や取り組み方、企画展示の取り組み方を学んで来ました。有意義な時間を持つことができました。



企画課長 永井清先生講義



写真：東京大学小西先生講義



写真：UNHCR 天沼氏講義